



学園通信

名古屋電気学園広報誌

5月

2019年

〈創刊号〉

【発行元】

学校法人名古屋電気学園 広報課

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247

TEL 0565-48-8177(直通)

HP <http://www.nagoyadenki.jp/>



愛知工業大学名電高校
アクティブラーニングルーム



学校法人 名古屋電気学園

愛知工業大学

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247

TEL 0565-48-8121

愛知工業大学名電高等学校

〒464-8540 名古屋市千種区若水3丁目2-12

TEL 052-721-0311

愛知工業大学名電中学校

〒464-8540 名古屋市千種区若水3丁目2-12

TEL 052-721-0201

愛知工業大学情報電子専門学校

〒471-0079 豊田市陸中町1丁目21-1

TEL 0565-32-8181



「学園通信」を

お届けします

ご愛読いただきました「学園だより」と「A I T n e w s」を今年度から統合し、名古屋電気学園の広報誌として装いを新たに「学園通信」（年三回発行）を皆様にお届けします。

本学園では愛知工業大学が開学六十周年、愛知工業大学名電高校が開校七十周年の節目を迎えました。昨年には中学校を「名電」の名の下に「愛知工業大学名電中学校」と改称し、愛知工業大学情報電子専門学校と合わせた四つの設置校が、さらに魅力あふれる学びの場となるよう努めているところです。

「学園通信」創刊号では、学園の新体制や各設置校の入学式など、令和の時代の始まりに重なるさまざまな行事・ニュースを掲載しています。また、全国高校選抜大会で五連覇を成し上げた名電高校卓球部など、躍動する学生・生徒たちの姿も随所に収めました。

豊かな人間性とチャレンジ精神を合わせ持った若者たちを、輝く未来に向けて大きく成長させたい。学園ならではの取り組みを今後もお伝えしてまいります。

豊田市や地元産業界の要請に応え、
コンピュータ・エンジニアを育成

愛知工業大学情報電子専門学校

愛知工業大学名電中学校

「誠実・勤勉」を校訓とする
中高一貫教育の
男女共学校

名古屋電気学園

「創造と人間性」を教育モットーに
4つの学校を通じて
人材育成に専心

3学部7学科14専攻
大学院に2研究科を設置

愛知工業大学

愛知工業大学名電高等学校

普通科、科学技術科、
情報科学科の3つの科をもつ
男女共学校

学園の歩み

一九二一年	学園	中部地方初の電気学校を創設
一九四七年	中学	名古屋電気中学校を開校 (名古屋千種区若水町)
一九四九年	高校	名古屋電気高等学校を開校 (名古屋千種区若水町)
一九五九年	大学	名古屋電気大学を開学 (名古屋千種区若水町)
一九六〇年	大学	愛知工業大学と改称
一九六〇年	中学	愛知工業大学附属中学校と改称
一九六六年	大学	大学院工学研究科修士課程 設置 西加茂郡猿投町(現・豊田市八草町)に 移転開始(一九七四年移転完了)
一九八三年	高校	愛知工業大学名電高等学校と改称
一九九二年	大学	大学院工学研究科博士後期課程 設置 愛知工業大学情報電子専門学校を開校 (豊田市陣中町)
二〇〇一年	高校	新校舎完成
二〇〇五年	大学	大学院経営情報科学研究科 設置
二〇〇九年	中学	新校舎完成
二〇一〇年	大学	自由ヶ丘キャンパス完成
二〇一二年	学園	創立一〇〇周年
二〇一八年	中学	愛知工業大学名電中学校と改称
二〇一九年	大学	開学六十周年 開校七十周年

I N D E X

愛知工業大学

TOPICS	p.6
ニュース	p.9
クラブ活動	p.12
Student's Report	p.15
活躍	p.16
キャリアニュース	p.18
Information&Schedule	p.19

愛知工業大学名電高等学校

TOPICS	p.5
ニュース	p.8
クラブ活動	p.11
INTERVIEW	p.17
Information&Schedule	p.19

愛知工業大学名電中学校

ニュース	p.7
クラブ活動	p.11
INTERVIEW	p.17
Information&Schedule	p.19

愛知工業大学情報電子専門学校

ニュース	p.10
Information&Schedule	p.19

名古屋電気学園

TOPICS	p.3
--------	-----

〈表紙〉 アクティブラーニングルーム
全面にホワイトボードウォールを配置し、鮮やかなデザインのカーペットや工夫された形状の椅子・机の利用で生徒の主体性を引き出します。アイデアを形にする3Dプリンターや、レーザーカッターも配備されています。

愛知工業大学



豊田市八草、名古屋市自由ヶ丘と本山にキャンパスをもち、3学部7学科14専攻と大学院2研究科を有する工科系総合大学です。「自由・愛・正義」の建学精神の下、1959年に開学して以来、学生のチャレンジ精神を全面的にバックアップし、ものづくり産業の第一線で活躍できる人材を育成しています。

愛知工業大学名電高等学校



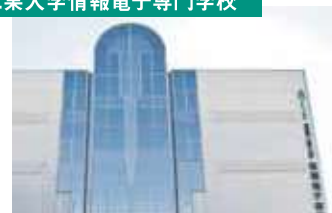
愛知工業大学を軸に国公立や難関私立大学を目指す普通科(特進・選抜コース、普通コース、スポーツコース)と、愛知工業大学各専攻と連携した教育を行う科学技術科・情報科学科があり、自分に合った学科・コースで学習します。最先端の学びにふれる授業に加え、ハイレベルな部活動も人間形成の一助になっています。

愛知工業大学名電中学校



主要科目の時間をたっぷり取り、私立校ならではのバラエティ豊かな副教材を併用して、6年間をフルに使ったカリキュラムで学力を養成する「男女共学中高一貫校」です。学内にとどまらず、中高大の学園ネットワークを活かし、教科書の範囲を超えた授業で自然科学に対する興味関心を高めます。

愛知工業大学情報電子専門学校



豊田市や地元企業からの要請に応え、優秀なコンピュータ・エンジニアを育成するために1992年に誕生しました。学生に資格と技術者としての実力、誇りを獲得してもらうため、専任の教授陣に加え、産業界のエキスパートを講師に迎えています。単位制を導入し、大学への編入学にも対応しています。



学園だより

TOPIC_01

平成三十一年の年度始め式

大学の平成三十一年の年度始め式は四月一日、八草キャンパス十号館大講義室で学園・大学の教職員が出席して開かれました。挨拶に立った後藤泰之理事長・学長は、開学六十周年の節目の年に新設の地域連携本部を加えた三本部体制で取り組む、教育・社会貢献の在り方について述べました。教育のモットー『創造と人間性』は不変の目標であるとして、「十年、二十年先を見据えて教育の方向性を示さなければならぬ。皆さんの力を結集し、本学ならではの『ものづくりを通しての人づくり』をさらに明確に、強化していったほしい」と呼び掛けました。

この後、新規任命の上羽牧夫基礎教育センター長、曾我部博之地域連携本部長、小池則満エクステンション



八草キャンパスで年度始めの挨拶をする後藤泰之理事長・学長

センター長兼地域連携本部長、中村栄治入試センター副センター長、北川一敬みらい工房長、後藤尚之大学事務局長の紹介をはじめ、新任・昇任教職員の紹介や学長賞の表彰がありました。

後藤理事長はこの日、若水キャンパス(中学・高校)でも年度始めの挨拶をし、「生徒のやる気と元気を引き出す教育に学園が一体となって取り組み、新しい時代を切り開きたい」と述べました。

TOPIC_02

学園新体制発表

名古屋電気学園は四月一日付で組織変更と人事異動を行い、平成三十一年度の新体制がスタートしました。主な人事では、新設の地域連携本部長に曾我部博之工学部教授(副学長)が就任し、大学事務局長を後藤尚之法人事務局長が兼務します。

主な組織変更としては、全学的な地域連携に関する事業を統括する部署として、大学に地域連携本部を新設しました。本部事務室は八草キャンパス第二本部棟四階に入り、時期を見てここにエクステンションセンターを移し、同センターに新設した「地域連携室」と共に地域連携に関する業務を担当します。

学園の辞令交付式は四月一日、八草キャンパス本部棟で、新規採用者、任命・昇格者の順に行われました。新規採用者は合わせて十八人で、

名古屋電気学園は四月一日付で組織変更と人事異動を行い、平成三十一年度の新体制がスタートしました。



大学教員新規採用者



高校中学教員新規採用者



事務職員新規採用者



任命された大学教員・中学教員・事務職員



昇格した大学教員・事務職員

大学教員七人、高校教員四人、中学教員二人、事務職員五人です。任命・昇格は合わせて二十人で、任命が大学教員十一人、中学教員一人、事務職員一人、昇格が大学教員五人、事務職員(管理職)二人です。

学園理事らが立ち会い、一人ひとりに後藤泰之理事長から辞令が交付されました。後藤理事長は、新規採用者への挨拶で「ものづくりを通しての人づくりが学園の一貫した姿勢です。高校七十周年・大学六十周年の節目の年、ぜひ皆さんの力をお借りして、より充実した教育を目指していきたい」と呼び掛けました。

辞令を交付された皆さん

■新規採用

【大学教員】山田裕昭教授(経営学科)、岡本直也准教授(基礎教育センター)、玉崎紫准教授(基礎教育センター)、藤枝直輝講師(電気学科)、渡邊康司講師(土木工学科)、内種岳詞講師(情報科学科)、福澤和久助教(経営学科)

【高校教員】刈谷恒司教諭、山岡愛教諭、瀬脇春菜教諭、木村洋子養護教諭

【中学教員】中村英揮教諭、山本泰彦教諭

【事務職員】堀田順治次長、平野考三参事、嶋好美事務職員(一般)、黒田左知子事務職員(一般)、水野典子事務職員(一般)

■任命

【大学教員】杉野丞教授(工学部長)、石井茂美教授(経営学部長)、伊藤雅教授(情報科学部長)、上羽牧夫教授(基礎教育センター長)、鳥井昭宏教授(基礎教育センター長)、内田敬久教授(教学センター副センター長)、津田紀生教授(キャリアセンター長)、小池則満教授(エクステンションセンター長、地域連携室長)、中村栄治教授(入試センター副センター長)、北川一敬教授(みらい工房長)、曾我部博之教授(地域連携本部長)

【中学教員】板倉進教諭(主事)

【事務職員】後藤尚之局長(大学事務局長)

■昇格

【大学教員】五島敬史郎教授(電気学科)、山田章教授(機械学科)、丸山恭司教授(経営学科)、北坂孝幸教授(情報科学科)、細淵勇人准教授(建築学科)

【事務職員】前田賢課長(人事企画課)、柘岡憲司課長(図書館事務課)

学長賞に四氏

大学の平成三十年度学長賞は、四月一日の年度始め式の席上、小林富雄経営学教授、水野勝教情報科学教授、鬼頭明卓球部総監督、森本耕平男子卓球部監督の四氏に対して後藤泰之学長から贈られました。

◆小林富雄経営学教授

食品ロスに関する研究の第一人者として、学会での受賞や環境省の専門委員就任など、外部の公的機関からも高く評価されています。またテレビなどのマスメディアにも多数出演し、本学の名声を高めることに多大な貢献をしました。

◆水野勝教情報科学教授

学生による「ETロボコン」のチームを指導し、2018チャンピオンシップ大会で見事優勝しました。チームは情報処理学会若手奨励賞も受賞しました。学生のやる気をおこし、学生生活に素晴らしい思い出をつくる活動が全国的に認められました。

◆鬼頭明卓球部総監督

国際大会男子シングルスで本学の吉村和弘選手を優勝に導きました。本学から吉村選手、木造勇人選手が日本代表として出場する2019世界卓球選手権大会に日本



(前列左から)水野勝教情報科学教授、小林富雄経営学教授、(後藤泰之学長を挟んで)鬼頭明卓球部総監督、森本耕平男子卓球部監督

代表コーチとして参加します。平成十九年から本学で監督として指導し、世界に通用する選手を輩出しています。

◆森本耕平男子卓球部監督

在学中に主将として卓球部を牽引し、今年度から卓球部監督として鬼頭総監督とともに指導に当たっています。全日本学生選抜卓球選手権シングルス、全日本卓球選手権ダブルスで本学学生が優勝・準優勝を分け合うなど、指導者としての力は大変優れています。

定年退職式 十五人の労をねぎらう

学園の平成三十年度定年退職者辞令交付式は、高校中学教員を対象にした三月二十七日と、大学教員・事務職員を対象にした同二十九日に、それぞれ開かれました。大学教員七人、高校教員五人、中学教員一人、事務職員二人の合わせて十五人が三月三十一日付で定年退職しました。若水キャンパス南校舎会議室(二十七日)と八草キャンパス本部棟会議室(二十九日)で、退職者一人ひとりに後藤泰之理事長から辞令と、岩間博校長、稲垣慎二理事から記念品が手渡されました。

後藤理事長は、開校七十周年(高

校)開学六十周年(大学の歴史と伝統をつないだ教職員たちの尽力をねぎらい)「これからも学園の発展を見守っていただき、またアドバイスをいただければ」と語りかけました。

これに答え、退職者を代表して応用化学科の山田英介先生が、本学応用化学科を受験してから五十二年にわたって八草キャンパスに通った日々などを振り返り、「教育研究の充実した環境を与えていただき、本当に感謝をいたしております」と謝辞を述べました。

両日とも交付式の後、後藤理事長らを囲んで和やかに記念撮影をしました。

定年退職の皆さん

■大学教員(七人)

飯吉偉、山田英介、奥村哲夫、呉承暉、森豪、金田行雄、小森清久

■高校教員(五人)

粥川桂司、石川聡、西三男、上島昌之、福田稔

■中学教員(一人)

中根文彦

■事務職員(二人)

鈴木康、長谷川千代松



謝辞を述べる山田英介先生



挨拶する後藤泰之理事長



八草・大学教員事務職員



若水・高校中学教員

「ありがとう イチロー選手」

MLBシーズン最多安打記録(262安打)、プロ野球通算安打世界記録(NPB/MLB通算4257安打)、同・最多試合出場記録(NPB/MLB通算3563試合出場)など、数々の金字塔を打ち建てたイチロー選手が、3月21日、東京ドームで行われたマリナーズ×アスレチックス戦を最後に現役引退を発表しました。母校・愛工大名電高校は、正門時計台に「ありがとうイチロー選手」と大書した懸垂幕を掲げ、偉大な卒業生に対する感謝を表しました。

イチロー(鈴木一郎)選手が名電野球部に在籍したのは平成1~3年度。1年夏から異例のベンチ入りをし、2年の夏と3年の春に甲子園出場を果たしました。

プロ野球オリックスに入団して3年目の平成6年、イチロー選手は当時のプロ野球記録となる210安打を放ち、その快挙をたたえて学園は後藤鉦二賞を贈りました。

野球部に思い入れが深かった前学園総長の故後藤淳先生は、生前、イチロー選手との出会いを振り返り「あえて言うなら、普通の人じゃない。ゴーイングマイウェイで、自分の信念だけでやってきた。その点、実に大したものだ」と感嘆していました。

現役を引退したとはいえ、イチローさんの活動に幕が下りたわけではありません。これから先、どんなサプライズを繰り広げてくれるのか、学園にゆかりの皆さんとともに楽しみに見守りたいと思います。



母校に掲げられた懸垂幕

イチロー選手引退に寄せて

東京ドーム2019年MLB開幕シリーズの最中に、マリナーズ、イチロー選手の現役引退ニュースが流れた。まさか?いま試合に出場中の選手が電撃引退表明するなんて?またイチロー得意のジョークか何かの間違いでは・・・数年前に会った時、イチローは私に「メジャーの選手と対等に戦おうとしても無理です。頭を使ったプレースタイル、日本野球は凄いなぞとアピールするために50歳までプレーしたいんです」と語っていたからだ。開幕戦ではヒットこそなかったが、まだまだ守備と足は健在であると見ていた。

31年前、高校野球入門の時に「プロ野球選手になるために愛工大名電高校に入学しました」と言っていた。170cm55kg。その年に入学した新人選手の中では最もスリムで、スタミナもなかった。しかし、1年ごとに技術と肉体が進化するその成長ぶりに驚かされた。日々の野球への姿勢はストイックで、ノルマを自らに課し、将来を見据えていた。

決して自主練習の姿や努力の跡を他人に見せることはなかった。

まさしく「努力の天才の姿」である。イチローの信条『継続は力なり』を体言し、野球ファンならず多くの人々に夢と感動を与えてくれた、記録と記憶に残るスーパースター。

日米の現役生活を通じて、いつも周囲を驚かせてきた。ふつうならお疲れさまと労いのコメントを贈るものと思うが、イチロー選手に関してはありきたりの言葉では終わらない。この先きっと、イチ流のギフトで私たちを再びビックリさせてくれるんじゃないかな?

いいぞ、いいぞICHIRO!

やったぜICHIRO!!

2019.4.9

愛工大名電高校野球部監督
(イチロー選手高校時代のコーチ)

倉野光生



入学式の後、部活の勧誘がにぎやかに行われた大学八草キャンパス

学園設置校四校で 入学式

学園設置校四校の入学式は、四月五日の愛知工業大学、六日の愛工大名電高校と愛工大名電中学校と、順次行われました。「令和」の時代の始まりを前に、希望を胸にした多くの若者たちを迎えて、学園全体が華やかな空気に包まれています。

開学六十周年記念・学生デザインの看板を最寄りの二駅に設置

開学六十周年を記念して学生からデザインを募集した大学常設看板が四月一日、八草キャンパス最寄りのリニモ八草駅構内と愛知環状鉄道八草駅ホームにそれぞれ設置されました。

リニモ八草駅構内の看板は情報科学科メディア情報専攻三年の中山亮さんによるデザイン、愛知環状鉄道八草駅ホームの看板は電気学科電子情報工学専攻四年の鎗水（やりみず）亮輔さんによるデザインです。

中山さんの看板は「動き出せ。」をキャッチコピーに、「大学で何を学び、将来にどう活かしたいか」という思いを込め、青色をベースに静け



リニモ八草駅に設置された中山さんデザインの看板



愛知環状鉄道八草駅に設置された鎗水さんデザインの看板

さと緊張感を表現しています。鎗水さんの看板は「未来を掴みとれ。」をキャッチコピーに、力強く伸ばした鉄人28号の腕が目標へ挑戦し続ける姿勢を表しています。

看板は、愛工大のイメージキャラクター「鉄人28号」を使用して「愛知工業大学らしさ」などのキーワードを視覚的に表現したものを募集し、応募作品十九点の中から両デザインが採用されました。縦一メートル八センチ×横一メートル五十センチ（リニモ八草駅）、縦八十八センチ×横一メートル七十八センチ（愛知環状鉄道八草駅）の大きさで、これから一年間設置される予定です。

高大連携プログラム 新たに名南工業高校と協定

大学の高大連携プログラムで、新たに愛知県立名南工業高校（名古屋市南区）と教育交流

協定を結びました。本プログラムでは、高校生が進路選択の参考として本学の特別講義を受けます。これで協定校は同県内二十七校になりました。

協定調印式は四月十日に名南工業高校で行われ、高校側は清水寿浩校長、魚谷和広教頭ら、本学側は高大連携推進室長の曾我部博之副学長、奥村俊三

入試センター参加らが出席しました。

名南工業高校は本年度から情報技術科を「エネルギーシステム科」に、化学工業科を「エネルギー・化学科」に改編し、資源・エネルギー・環境問題に対応できる技術者の育成に努めています。調印式では曾我部副学長

が高大連携プログラムの意義を説明して夏に開講する特別講義への参加を呼び掛け、清水校長が「地域で活躍する工業人育成のため、深い学びを実現できれば」と期待感を表しました。



協定書に調印した清水名南工業高校校長(右)と曾我部副学長

あいわ幼稚園に 九十五人が仲間入り

名古屋市名東区の姉妹学園・あいわ幼稚園で四月七日、入園式が行われ、九十五人の子供たちが新しいお友達になりました。後藤泰之園長が新入園児たちに「おめでとうございます。これからは幼稚園では先生がみんなのお母さんです。困ったことがあったらすぐにお話ししてくださいね。元気よく幼稚園に通っててください」と優しく語りかけました。来賓・講師・職員紹介の後、クラスごとに園長先生と一緒ににぎやかに記念撮影を行いました。



挨拶する後藤泰之園長

中学校

ニュース

名電中学には百十三人



宣誓する草場琉樹君

愛工大名電中学校の平成三十一年度入学式が淳和記念館三階体育館で行われ、百十三人が入学しました。入学許可宣言に続き、岩間博校長が式辞で「学校は失敗や間違いから学ぶところ。同じ目標に向かう仲間と常に高め合える雰囲気を作りました。続いて後藤泰之理事長が挨拶し「いろいろなことに興味や関心を持ち『こうなりたい』という夢を持ってください」と期待する言葉を述べました。在校生代表の歓迎の言葉の後、新入生を代表して草場琉樹君が「一歩ずつ着実に立派な大人になれるよう努力します」と宣誓しました。



式辞を述べる岩間博校長

名電中学の一年生たちが リトルワールドへ初遠足

名電中学に入学した一年生たちが四月十七日、愛知県大山市の野外民族博物館リトルワールドへ、初めての遠足に訪れました。

一年生全員の百十三人が元気に参加。班別行動が始まってから小一時間後に雨が降り始める天候でしたが、生徒たちは班のメンバーと協力しながら、気に入った国々の文化についてメモをとり、後日の発表に備えていました。



高等学校

ニユース

名電高校に 五百四十二人が入学



宣誓する馬場涼成君

愛工大名電高校の平成三十一年度入学式は喬徳館で行われ、普通科四百人、専門学科(科学技術科、情報科学科)百四十二人の合わせて五百四十二人が入学しました。岩間博校長は、式辞で本校卒業生・イチロー選手の生き方にふれながら校訓「誠実・勤勉」の実践について説き「互いに高め合う仲間との絆が皆さんの未来に向けて大きな力となる」と語りかけました。続いて後藤泰之理事長が挨拶に立ち「皆さんの前途は大きく開かれています。夢の実現に向け、この三年間でどれだけ成長できるか大いに期待しています」と励ましの言葉を贈りました。新入生を代表し、馬場涼成君が「勉学にクラブ活動に精いっぱい努力することを誓います」と宣誓しました。

入学式の後、キャンパス内で各種奨学金の交付があり、大矢奨学金が高校生一人に、学業奨学生採用通知書が高校生二人に、それぞれ交付されました。



電気学会 高校生懸賞論文コンテストで 審査員特別賞

平成三十年度電気学会高校生懸賞論文コンテストに名電高校科学技術科三年の鈴木真啓君が挑み、審査員特別賞を受賞しました。

鈴木君の論文は「圧電素子による靴底発電の研究」。災害時の電源確保について考える中、歩行するときに発生するエネルギーの利用を思い立ち、市販の圧電素子を用いて靴底発電装置を試作。整流・充電回路の工夫をしながら実験を繰り返し「今後の研究次第ではスマホの充電程度の電力なら十分に補うことができる」と結論付けました。

表彰式は三月二十六日に神奈川県電気館で行われました。名電高校を卒業し、今春、愛知工業大学工学部電気学科に進学した鈴木君は「さらに学問を究め、将来は研究開発職に就きたい」と夢を語っています。



高校生懸賞論文コンテストで審査員特別賞を受賞した鈴木真啓君

学部一年は千三百九十九人 愛知工業大学平成三十一年度入学式



新入生を代表して宣誓する小池暁士さん

大学の平成三十一年度入学式が八草キャンパス御徳館で開かれ、工学部、経営学部、情報科学部の三学部に合わせて千三百九十九人、大学院工学研究科と経営情報科学研究科に合わせて九十四人が入学しました。また学部三年次への編入は十三人でした。

入学式は、情報科学科・CGメディア研究室(水野慎士教授)の学生が制作した来場者のスマホの動きと連動する歓迎映像とともに始まり、本学管弦楽団が「祝典行進曲」を演奏。後藤泰之学長は、式辞で建学の精神「自由・愛・正義」と教育の motto「創造と人間性」が意味するものに触れ、「本学の教育の本質は学生諸君の『やる気と元気』です」と呼び掛けました。

これに答え、新入生を代表して機械学科の小池暁士君が「失敗を恐れず、積極的な姿勢で日々精進することを誓います」と宣誓しました。

入学式の後、本部棟などで各種奨学金の交付が行われました。大矢奨学金が建築学科の学生に交付されたほか、スポーツ奨学生証(第一種、準一種、第二種、第三種)が新入生と在学生合わせて三十七人に、名電高大接続奨学生証が機械学科と情報科学科の学生各一人に、選抜奨学生証が建築学科と情報科学科の学生各一人にそれぞれ交付され、後藤泰之理事長が激励の言葉を贈りました。



式辞を述べる後藤泰之学長



スマホの動きと連動した新入生歓迎映像



学内イベントや研究室の様子など愛知工業大学の様々な情報を発信しています。



愛知工業大学の公式チャンネルもご覧ください。



Pick up!

「SNOOPY™ FANTARATION」今年も開催

本学が制作・展示協力するスヌーピー×おもしろサイエンスアート展「SNOOPY™ FANTARATION」は、今年も博多展(3月21日～4月8日・博多阪急)、横浜展(4月18日～5月12日・横浜赤レンガ倉庫1号館)と相次いで開かれました。昨年の東京、大阪、広島、名古屋各展に続く開催で、教員・学生たちによる科学の粋を凝らした楽しいスヌーピーが人気の的になっています。

本学からの参加団体と出展内容は次の通りです。

©2019 Peanuts Worldwide LLC

知的計測制御研究室
／電気学科 古橋秀夫教授



四足から二足歩行に進化するスヌーピー型ロボット「ROID SNOOPY」

ロボットアート(クラブ同好会)



ダンスするスヌーピー型ロボット「DANCING SNOOPY」



お座り型スヌーピーロボット「FUNNY SNOOPY」

CGメディア研究室

／情報科学科 水野慎士教授



自分の描いた絵がCGとなって大画面に投影される「不思議なスケッチブック」



映し出されたスヌーピーの影とCGの影が共存する世界「マジックシャドー」

情報電子専門学校 ニュース

専門学校には定員超えの百三十二人

愛工大情報電子専門学校の平成三十一年度入学式は同校四階の大教室で行われ、百三十二人が入学しました。四年連続で入学者は定員を超え、特に今年度は四次一般入試の受験者数が昨年から倍増し七十二人に達するなど、大きな関心を集めました。

国歌斉唱の後、飯吉僚校長が式辞で「着実に資格を取るなどして、実践力と自信を身につけていただきたい。皆さんの努力と成長を全力でバックアップします」と期待する言葉をかけました。続いて後藤泰之理事長が「名古屋電気学園の一員であるという誇りと自信を持って実り豊かな学生生活を送っていただきたい」と挨拶し、太田稔彦豊田市長からの祝辞も披露されました。

新入生を代表して電子制御学科の森一真さんが「建学の精神をわきまえ、学則を守り、勉学に励んでいきたい」と誓いの言葉を述べました。



式辞を述べる飯吉僚校長



誓いの言葉を述べる森一真さん

ベーシック合格率部門 三年連続で優秀校に

画像情報教育振興協会(CGIARTS協会)が平成三十一年度を実施した検定試験で、愛知工業大学情報電子専門学校は認定教育校の中でトップレベルの合格率を記録し、「ベーシック合格率部門優秀校」を受賞しました。

検定試験は五種類あり、専門学校DTP・Webデザインコースでは、Webデザイナー検定とマルチメディア検定を受験しています。

優秀校受賞は平成二十八年度から三年連続。これは受験者全員が優秀な成績で合格している証です。



【卓球部】

高等
学校

中学校

選抜卓球 高校卓球部が5連覇!



5連覇を達成した名電高校卓球部(ニッタクニュース提供)

名電高校卓球部は、第46回全国高校選抜大会の決勝(3月28日・福岡県北九州市立総合体育館)で野田学園(山口県)を3-1で下し、大会5連覇を成し遂げました。

男子学校対抗決勝は、5年連続で同じ相手となるライバル校・野田学園との戦いに。1番・曾根翔選手(1年)が野田学園・戸上隼輔選手との“エース対決”を3-2で制して勢いに乗り、2番の横谷晟選手(1年)もストレートで勝利。3番ダブルスは勝ちを譲りましたが、4番の加山裕選手(2年)が気迫あふれるプレーで相手を圧倒し、ストレート勝ちで5連覇を決めました。

中学は7連覇を逃す

一方、名電中学卓球部は、第20回全国中学選抜大会(3月23～24日・新潟市東総合スポーツセンター)で3位の成績を収めました。大会6連覇中の同部は、準決勝で野田学園と対戦し、1番・鈴木颯選手が勝利しましたが、後に続くことができず1-3で敗退しました。

中高卓球部は、毎年「打倒名電」を目指して襲い掛かる全国の強豪校と紙一重の戦いを繰り返しています。名電にとって連覇は、対戦相手だけでなく「プレッシャー」という強大な敵を打ち負かさねば達成できない偉業であることを、今選抜の結果が示しているようです。



加山裕選手がストレート勝利で5連覇を決める(ニッタクニュース提供)



エースの重責を果たした曾根翔選手(ニッタクニュース提供)



名電中卓球部の鈴木颯選手(ニッタクニュース提供)

クラブ活動

*学生の所属・学年は取材当時のものです。

【野球部】

令和初Vは愛工大！愛知大学野球で39季ぶり頂点

本学硬式野球部は愛知大学野球春季リーグ戦第7週第2日の5月19日、愛知学院大を4-2で下し、1999年秋以来となる39季ぶり18度目の優勝を決めました。1部昇格・即優勝の快挙です。

本学は二回、相手のエラーで生じたチャンスを逃さず2点先制。五回に平本敦己内野手、六回に尾濱徹捕手の適時打でリードを広げ、完投の新村将斗投手は今季6勝目を挙げました。

本学は6月10日開幕する第68回全日本大学野球選手権大会に愛知代表として23年ぶり10度目の出場をします。初戦は10日午後2時、東京ドームで南東北代表の東日本国際大と。応援をよろしくお願いします。



勝利を決め、マウンドに駆け寄る選手たち



就任5季目で優勝、胸上げされる平井光親監督



39季ぶりに頂点に立った本学硬式野球部

1部リーグを戦う選手・指導者たち(カッコ内は学年)

■投手(18人)	■捕手(5人)	■外野手(17人)
中村 光汰(4)	梅林 勇介(3)	市川 晃大(4)=主将
西田 昂洋(4)	尾濱 徹(3)	熊澤 佐将(4)
八木田 健人(4)	田中 怜央那(2)	杉田 慎樹(4)
吉村 真一(4)	岩崎 慎(1)	山川 大地(4)
内田 雅輝(3)	谷川 葵依(1)	榊原 耕大(3)
清水 寛(3)	■内野手(16人)	竹腰 拓朗(3)
新村 将斗(3)	江川 清太郎(4)=副将	矢野 皓太(3)
大宅 健介(2)	西崎 圭亮(4)	清水 壮太(2)
加藤 幹也(2)	山本 航樹(4)	中田 厚大(2)
瀧瀬 航(2)	岡田 虎二郎(3)	橋本 正大(2)
鈴木 敦也(2)	寺坂 亮弥(3)	小寺 駿一郎(1)
藤田 涼太郎(2)	中井 雄輝(3)	後藤 晃成(1)
打田 将也(1)	平本 敦己(3)	白石 大悟(1)
杉田 力斗(1)	渡辺 毅大(3)	近澤 孝祐(1)
高井 脩平(1)	倉本 由伸(2)	原 大純(1)
室田 祥吾(1)	半田 重人(2)	福山 虎太郎(1)
山口 祥輝(1)	山本 直輝(2)	三浦 真武(1)
吉井 隆生(1)	渡邊 健士郎(2)	
	小鹿 允己(1)	服部 洋兒 部長
	清水 颯大(1)	平井 光親 監督
	中島 叶人(1)	武井 則近 コーチ
	山本 享平(1)	近藤 一哉(4) 主務
		小椋 翔太(4) 学生コーチ

【卓球部】

高等
学校

中学校

国際大会で相次いで優勝 中高卓球部選手たち

4月10～14日にフランス・メスで開催された卓球のITTF(国際卓球連盟)ジュニアサーキット・フランスオープンで、名電高校・中学の選手たちによる日本チームがジュニア男子団体優勝を飾りました。

日本チームで戦ったのは、高校の横谷晟選手、篠塚大登選手と中学の鈴木颯選手。準決勝でドイツを3-1で下し、決勝はポーランドに3-0のストレート勝ち(不戦勝1)でした。

このほか、同大会ではカデット男子シングルス決勝が中学の選手同士で争われ、鈴木選手が優勝、吉山僚一選手が準優勝しま

した。また、ジュニア男子シングルスでも高校の篠塚選手が3位入賞しました。

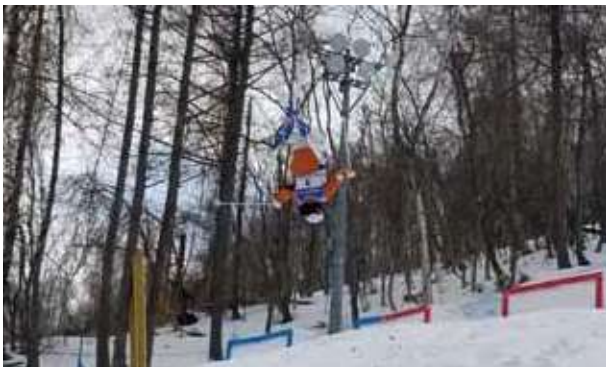
続いて4月15～19日にベルギー・スパで開催されたITTFジュニアサーキット・ベルギーオープンでは、ジュニア男子ダブルスで高校の篠塚・横谷選手組が優勝を飾りました。また、ジュニア男子団体で中学の吉山選手が出場した日本／ニュージーランド混成チームが準優勝し、カデット男子シングルスで中学の鈴木選手が3位の成績を収めました。

【競技スキー部】

大学競技スキー部 伊原選手が全日本準優勝 溝口選手が中部日本学生2連覇

3月14～16日、リステルスキーファンタジア(福島県猪苗代町)で開催された第39回全日本スキー選手権(フリースタイルモーグル)で、大学競技スキー部の伊原遥香選手(経営学科2年)がDM種目準優勝しました。

伊原選手は初日、MO種目コース中盤で転倒して下位に沈みましたが、2日目のDM種目でナショナルチームメンバーを倒して準優勝に輝きました。伊原選手は3月に北海道で行われた宮様国際スキー大会でも4位入賞し、全国大会入賞の成績を連続で収めています。



伊原遥香選手のエアー

3月1～3日、白馬岩岳スノーフィールド(長野県白馬村)で開催された「第64回中部日本学生スキー選手権大会」で、同部の溝口雄平選手(経営学科3年)が大回転種目2年連続優勝を果たしました。

溝口選手はスーパー大回転で失敗し5位と出遅れましたが、次の種目の大回転で2位に1秒以上の差をつけ2年連続優勝を達成。最終日の回転でも2位に入り、安定した力を見せました。

今回、本学はアルペンチーム4人だけの参戦となりましたが、全員がポイントを獲得し、総合でも準優勝と健闘しました。



大回転優勝の溝口雄平選手

【ロケット研究会】

種子島ロケットコンテスト大会で部門準優勝など

ロケット研究会(顧問・今野彰機械学科教授)が、3月6～9日に鹿児島県種子島宇宙センターで開催された第15回種子島ロケットコンテスト大会で、ロケット部門(滞空および定点回収)準優勝などの好成績を収めました。同研究会は、3年生2人、2年生11人、1年生5人の計18人。参加団体の中で唯一、5種目全競技に参加し、すべて書類審査を通過して本選に出場しました。

ロケット部門(滞空および定点回収)は、発射点から打ち上げ、出来るだけ長く空中に滞り、かつ射点にいかに近く着陸できるかを競います。宮野智弘さん、福富弘希さん、中瀬雄斗さん(機械学科1年)、小嶋一路さん、渡辺瑛地さん(同2年)のチームが、滞空8.8秒、距離6m 33cmの記録で準優勝しました。種子島の強風対策としてユニークなメッシュ(網目)のパラシュートを採用し、当日は風で流されることを考慮して発射方位角度を設定しました。また、兵藤京香さんと塩瀬琴子さん(同2年)のチームも滞空11.87秒、距離32mの記録で4位の成績を収めました。

今大会は強風によるトラブルが多発し、フライバックタイムアタック部門(ペイロード3機を同じロケットで3回打ち上げ、その時間を競う競技)では全チームが失格し、勝者なしという事態に至りました。同部門に参加した渡辺瑛地さん、中村知裕さん(同2年)のチームは、記録は失格ながら、回収装置(パラシュート)をワンタッチで機体に収納する工夫などが評価され、3月6日の技術発表会で審査員特別賞(ベストプレゼン賞、IHIエアロスペース賞)を獲得しました。



滞空・定点回収競技



好成績を収めたロケット研究会

世界卓球に本学出身・在学3選手が出場、 吉村真晴選手が混合ダブルス銀メダル

4月21～28日に開催された世界卓球選手権ブダペスト大会（個人戦）に、混合ダブルスの吉村真晴選手（本学卓球部OB・名古屋ダイハツ所属）、男子シングルの吉村和弘選手（本学卓球部OB・東京アート所属）、男子ダブルスの木造勇人選手（経営学科2年）の愛知工業大学出身・在学3選手が出場を果たしました。

混合ダブルスで石川佳純選手（全農）と組んだ吉村真晴選手は、準決勝でドイツのペアを4-1で下し、吉村／石川ペアとして3大会連続となる決勝進出を決めました。決勝は、中国の許昕／劉詩雯選手と対戦。吉村／石川ペアは、競り合いになった場面であと1本が取れず1（5-11、8-11、11-9、9-11、4-11）4で敗

退し、金メダルに輝いた前回大会（2017年）に続く連覇はかきませんでした。結果は銀メダルながら、吉村／石川ペアは2020年の東京五輪で初実施される混合ダブルスへの出場意欲を「このペアで戦えれば最高」と笑顔で語りました。

一方、兄の真晴選手に続いて世界卓球に初出場した吉村和弘選手は、男子シングルス2回戦でブラジルの選手に惜敗しました。張本智和選手（JOCエリートアカデミー）と組み、男子ダブルスと同じく世界卓球に初出場した木造勇人選手は、3回戦で中国ペアに敗れベスト16に終わりました。



混合ダブルス銀メダルの吉村真晴／石川佳純選手（ITTF提供）



張本智和選手と組んで男子ダブルスを戦った木造勇人選手（左）（ITTF提供）

高等学校

■将棋部

第27回全国高校文化連盟将棋新人戦大会

■バレーボール部

第71回全日本バレーボール高校選手権大会

■吹奏楽部

第66回全日本吹奏楽コンクール
第31回全日本マーチングコンテスト

■ボウリング部

第25回全国高校対抗ボウリング選手権大会

■メカニカルアーツ部

ロボカップジュニア・ジャパンオープン2019和歌山

■競技スキー部

全国高校総合体育大会スキー競技

■卓球部

全国高校選抜卓球大会

■フェンシング部

第43回全国高校選抜フェンシング大会

■相撲部

全国高校相撲選抜大会

■ウェイトリフティング部

第34回全国高校ウェイトリフティング競技選抜大会

中学校

■メカニカルアーツ部

ロボカップジュニア・ジャパンオープン2019和歌山

■スキー部

第56回全国中学校スキー大会

■卓球部

第20回全国中学選抜卓球大会

ク ラ ブ 表 彰

学園は昨年12月～今年3月にかけて、全国大会に出場した左記中高13クラブに対してクラブ表彰を行いました。

後藤泰之理事長が「上を目指して、気持ちで負けないように」などと各部の顧問、選手らを激励し、愛名会、高校同窓会、高校PTAからもお祝いが贈られました。

愛知工業大学 学生チャレンジプロジェクト

Report 01: 学生フォーミュラ参戦プロジェクト



仲間たちと助け合い生まれた絆を武器に 目指すは上位入賞!

2018年でチーム発足から10年となる「学生フォーミュラ参戦プロジェクト」。学生が主体となってフォーミュラ車両を設計・開発し、毎年9月に行われる学生フォーミュラ日本大会へ参戦するプロジェクトです。

部品の設計・製作を行う際に生じる様々な問題を、仲間たちと話し合い乗り越えて解決する。その繰り返しで、チームの絆をより深めます。

「まだまだ発展途上のチームですが、上位入賞できるチームを目指して日々活動を頑張ります!」とプロジェクトメンバーも前向きです。



プロジェクトメンバーに質問!

将来の夢を教えてください!

将来は現在の活動の経験を活かし、車の設計・開発に携わりたいです。多くの人々の役に立つものづくりをしたいと考えています。

(工学部 機械学科2年 高田 宗一)

チームの目標

これまでの技術や経験を活かし、次回大会では総合20位を目指す。今後は上位入賞ができるチームへと成長していきたい!

愛知工業大学 学生チャレンジプロジェクト

Report 02: 最新情報技術を用いた体感型デジタルゲームの制作と「東京ゲームショー2018」への出展および学術的成果発表

新しい技術の開発に成功! 誰にでも楽しめるゲームを作りたい!

当プロジェクトでは、「東京ゲームショー2018」への出展を目的とした体感型デジタルゲームを制作しました。また、ゲーム制作のために開発した新しい技術は、学術的な会議でも発表しました。

制作には、情報メディア関連分野の様々な要素が必要となります。そして、多くの人に楽しんでもらうゲームを開発するには、技術、アイデア、ビジュアルデザイン等が高いレベルで融合しなければなりません。授業で学んだ技術の活用とさらなるスキルアップを目指して日々取り組んでいます。



プロジェクトメンバーに質問!

最もやりがいを感じたことは何ですか?

東京ゲームショーには25万人以上のゲーム愛好家やゲーム開発者が参加します。ゲームに対して目が肥えた人たちに楽しんでももらえるゲームを制作することは大変でしたが、同時にとてもやりがいを感じ楽しかったです。

(情報科学部 情報科学科 メディア情報専攻2年 伊藤 里菜)



チームの目標

引き続き2019年も東京ゲームショーに出展すること!

活躍

*学生の所属・学年は取材当時のものです。

たくさんの学生・教員が各所で活躍しています。

■愛知工業大学

2018年度設計競技・全国最終審査 最優秀賞、優秀賞、佳作4点受賞

建築学科 住・高空間デザイン研究室

全国1次審査を通過してノミネートされた12組中、半数の6組が同研究室からの参加、かつ全賞獲得は前例のない快挙。



■愛知工業大学

第71回アメリカ物理学会流体力学部門 2年連続1位受賞

大学院工学研究科博士前期課程2年 機械学科・応用数理研究室

山本 圭恭さん

同学会学生ポスターセッションにて、「一様等方性乱流における様々なスケール間の渦における渦伸長と渦強化特性の関係」のテーマで発表し、前年に続く受賞。



■愛知工業大学

国際学会ICEE2018 ベストポスターアワード受賞

大学院工学研究科博士前期課程1年 電気学科・電力システム工学研究室 塚本 真澄さん

昨年開催された国際学会ICEE2018で、「線路末端へ大容量PV装置導入時の長距離配電線路上の電圧分布」と題してポスター発表を行い受賞。

■愛知工業大学

第6回スマートフォンアプリコンテスト 優秀賞受賞

情報科学科4年 ユビキタス情報処理研究室 濱田 康平さん 井上 晴稀さん

濱田さんのアプリ「もじぴったし」、井上さんのアプリ「ATS」が、それぞれ優秀賞を受賞。

■愛知工業大学

高速信号処理応用技術学会研究会 優秀発表受賞

大学院工学研究科博士前期課程2年 電力システム工学研究室 大脇 大輝さん

「電気工学学生のための組込みプログラム実験－GPS電波受信困難環境下における処理プログラム実習－」のテーマで発表し受賞。

■愛知工業大学

電気学会電力・エネルギー部門大会 YPC奨励賞受賞

大学院工学研究科博士前期課程2年 電力システム工学研究室 堀江 俊介さん

「分散配置された太陽光発電装置の運転電圧の決定方式」と題したポスター発表を行い、29歳以下の若手研究者に贈られるYPC奨励賞を受賞。

■愛知工業大学

WiNF 2018(第16回情報学ワークショップ) 奨励賞受賞

情報科学科・ビジュアル情報処理研究室 大学院経営情報科学研究科博士前期課程1年 情報科学科4年

清水 峻太さん 佐野 裕哉さん

「下水管内検査におけるひび割れ領域検出の基礎検討」と題してポスター発表を行い、奨励賞を受賞。

■愛知工業大学

ETロボコン チャンピオンシップ大会優勝 情報処理学会若手奨励賞受賞

チーム八草

規定のコース上で同一車体のロボットを走らせ、組み込みソフトウェア技術の優秀さを競う同大会のディベロッパー部門ブライマリークラスに出場し受賞。

■愛知工業大学

第89回MBL研究発表会 優秀論文賞受賞

大学院経営情報科学研究科博士前期課程2年 ユビキタス情報処理研究室 磯村 奎介さん

第89回モバイルコンピューティングとバーベインシステム研究発表会にて、「気圧センサを用いたステップ認識手法」のテーマで発表し、受賞。

■愛知工業大学

ワールドロボットサミット2018の競技会 プラント災害予防チャレンジ 3位入賞

機械学科 知能機械システム工学研究室 三浦 洋靖 研究員

同サミットの競技会「ワールドロボットチャレンジ」で産学連携チームAiSaFuに参加し、「プラント災害予防チャレンジ」に挑んで3位入賞。

■愛知工業大学

TQM(総合的品質管理)に関する優れた書籍 として日経品質管理文献賞受賞

経営学科 仁科 健 教授

前職での講演内容、研究成果を基にした、川村大伸氏、石井成氏との共著「スタンダード品質管理」が受賞。

■愛知工業大学

日本電気協会 第63回(平成30年度)澁澤賞受賞

電気学科 松村 年郎 教授

学術研究部門の受賞。電気の保安、信頼度向上のための調査、研究、及びそのサポートなどを20年以上にわたり行って顕著な功績をあげた研究者として称された。

■愛知工業大学

第11回SMAシンポジウム2018 最優秀賞受賞

大学院工学研究科博士前期課程1年 機械学科・機能材料研究室 奥村 雅斗さん

「TiNi形状記憶合金の耐食性向上」と題したポスター発表を行い、発表件数17件の中で最優秀賞を受賞。

■愛知工業大学

第6回スマートグリッドに関する国際会議 最優秀論文賞受賞

電気学科4年 電力システム工学研究室 加藤 亘輝さん

「Relationship Between The Set Temperature and Power Consumption of An Air Conditioners(空調機器の設定温度と消費電力との関係)」と題して発表し、受賞。

■愛知工業大学

演算増幅器設計コンテスト 多部門上位入賞

大学院工学研究科博士前期課程1年 電気学科4年 伊藤 裕也さん 花澤 蒼瑛さん

同コンテストの成果発表会にて、伊藤さんは部門1で4位、部門2で2位、部門3で2位、花澤さんは部門1で6位、部門2で5位、部門3で6位と共に好成績を収めた。

■愛知工業大学

第36回電気設備学会全国大会 発表奨励賞受賞

大学院工学研究科博士前期課程1年 電力システム工学研究室 電力エネルギー工学研究室

岩根 佑治さん 谷口 智基さん

岩根さんは「配線探査手法に関する一検討」、谷口さんは「降水日の内灘風力発電所における落雷の有無と気象要素に関する基礎研究」と題して発表し、各々受賞。

■愛知工業大学

第11回岩木トライボコーティングネットワークアワード 優秀賞・事業賞同時受賞

電気学科 清家 善之 教授

旭サナック株式会社、九州大学との共同研究「脱真空回転霧化式二流体スプレー法を用いた三次元スタック構造半導体デバイスへのコンフォーマル成膜」により受賞。

■愛知工業大学

日本機械学会 2018年度年次大会 若手優秀講演表彰受賞

大学院工学研究科博士前期課程1年 機械学科・ナノテク研究室 別府 幸さん

日本機械学会 2018年度年次大会で行った講演「単層カーボンナノチューブのカイラリティと機械物性」により、若手優秀講演表彰受賞。

■愛知工業大学

情報処理学会「インタラクティブ2019」 インタラクティブ発表賞受賞

情報科学科3年 CGメディア研究室 高崎 真由美さん

「空中への運動視差立体視CG映像の投影と手による直接的なインタラクティブの提案」と題したデモ発表を行い、受賞。

■愛知工業大学

映像情報メディア学会 映像表現・芸術科学フォーラム2019 優秀発表賞受賞

情報科学科2年 伊藤 里菜さん

「吹き戻し笛を利用したインタラクティブ手法の2人同時使用への拡張」と題して発表を行い、受賞。

■愛知工業大学

映像情報メディア学会 映像表現・芸術科学フォーラム2019 優秀発表賞受賞

大学院経営情報科学研究科博士前期課程1年 ビジュアル情報処理研究室 清水 峻太さん

「浮流型ネットワークカメラによる下水管スクリーニング検査～撮影機体の設計とひび割れ検出手法の提案～」と題して発表を行い、受賞。

■愛知工業大学

日本機械学会東海学生会 第50回学生会卒業研究発表講演会 優秀発表賞受賞

機械学科4年 機能材料研究室 前田 新太さん

「加工熱処理による形状記憶合金焼結体の疲労特性改善」と題して講演し、Best Presentation Award(優秀発表賞)を受賞。

■愛知工業大学

情報処理学会第81回全国大会 学生奨励賞受賞

情報科学科4年 組込みシステム研究室 上谷 一将さん 芳賀 正憲さん

上谷さんは「自動運転ソフトウェア開発のための仮想環境の検討」、芳賀さんは「FA機器のサーボモータ間の相互作用を考慮した故障予測の検討」で、それぞれ受賞。

INTERVIEW

岩間博 校長

headmaster
■名電中学校・高等学校



失敗を重ねながら、 新たなものを創り出せる人材を

当学園は、元々ものづくりが盛んであったこの地域に貢献できる人材を、長年にわたり送り出してきました。これからも工業・情報系を中心に、次世代のものづくりの主體的に取り組める生徒を育てることが学園の大きな目標の一つです。

ものづくりという分野では、アイデア、技術、人と人の力、そういったものを活かすことで初めて新しいものが生まれます。そうした中で、学校としては、生徒自身の様々な興味・関心をベースに、主体的かつ意欲的にいろいろなことに取り組める環境づくりを進めていきたいと考えています。

中学では、中高六年間の一貫教育という位置づけで、生徒一人ひとりがどのような分野で自分の可能性を伸ばせるのかという意識づけができるようなキャリア教育を、計画的に学年に応じて組み立てています。

また高校では、入試改革の動きも踏まえ、今年度の一年生から「探究的活動」の時間を導入しました。生徒自身が主体的に問題・課題を見つけ出し、それに対して自分で調査・研究などの活動をし、プレゼンテーションする取り組みを重視したいと考えています。

これからの社会の第一線で活躍するためには、失敗を重ねながら試行錯誤を繰り返して、何かを創り出す力がますます必要になってきます。中高の六年間で、そのための興味・関心や意欲を育てていくことが大切であり、我々の使命だと思っています。

お互いに高め合える存在が、高校生活を 充実させ未来を切り開いてくれた

「令和」という新たな時代の始まりに、名電高等学校から愛知工業大学に進学する森本朱偉君、上原温揮君。二人は、高校時代は同じクラス同じ部活で、お互いを認め合い、高め合ってきた関係である。岩間校長も語っています。

二人の所属した「情報デザイン部」は、愛工大で平成十四年度から毎年開催されている「A-I-Tサイエンス大賞」にチームで出場し、二年生、三年生と二年連続で優秀賞に選ばれました。この部で副部長を務めたのが森本君です。

「部活動では2D映像制作を中心に、学校紹介の映像やポスター、愛知県警察からの依頼など、いろいろな制作物を作りました。五十人ほどの部員と様々なことに取り組む中で、自分たちの成果が評価されて認められたという環境でした」

自分自身が誰よりも一歩前進して恐れずに突き進めば、最後にやり切ったよかったです。自らの経験をもつてそう語る二人は、この春からの愛工大での勉強や研究、その後の未来に期待を膨らませています。

「サイエンス大賞は、本番の半年くらい前から準備を始め、研究やプレゼンテーションの練習など毎日夜遅くまでチーム六人で力を合わせて取り組みました。名電高校は、施設が充実していて、先生方も自分たちのやりたいことを後押ししてくれる、学びにもってこの環境でした」

「令和」という新たな時代の始まりに、名電高等学校から愛知工業大学に進学する森本朱偉君、上原温揮君。二人は、高校時代は同じクラス同じ部活で、お互いを認め合い、高め合ってきた関係である。岩間校長も語っています。

森本朱偉

名電高等学校
情報科学科



上原温揮

名電高等学校
情報科学科



2人は、この春から、愛知工業大学に進学。
森本君は、情報科学部 情報科学科 メディア情報専攻、
上原君は、情報科学部 情報科学科 コンピュータシステム
専攻にて、更なる知識の習得に励んでいます。



students

■名電高等学校

*学生の所属・学年は取材当時のものです。

個々の学生に対応した丁寧な就職指導



昨年10月、経団連は就職活動の時期を決める「就活ルール」を廃止すると正式に発表しました。60年以上続いてきた「就活ルール」の廃止により、今後の就職活動に不安を抱いている方も多いのではないでしょうか。

愛知工業大学キャリアセンターではこのような現状も踏まえ、各学科各専攻の就職担当教員といっそう連携を密にし、今まで以上に「質の高い就職」や「学生サポートの充実」を目指しています。引き続き、個々の学生に対応した丁寧な就職指導に取り組んでいく所存です。



就職活動を強力にサポート

低学年時のサポートからインターンシップ、各種プログラムまで

POINT!

就活だけでなくとどまらず、1・2年次から充実した学生生活を送れるよう人間的な成長と自立をサポートします。また、インターンシップや資格取得などのキャリア支援にも力を入れています。



低学年向け
キャリアガイダンス

就職支援プログラム

キャリアセンターでは、様々な各種プログラムを開催しており、就職活動スタート前から内定取得までしっかりとサポートしています。

就職ガイダンス 就職状況や就活準備について、様々な視点からレクチャー!



6月

内々定獲得の秘訣
就活スケジュール



7月

人事担当者による
パネルディスカッション



10月

業界・企業研究
の進め方

2月には、最終確認
と学内企業展の活用
法のガイダンス
を実施します。

PICK UP!!

就職活動のバイブル
「就職ノート」
を配布!



愛工大
オリジナル

企業研究セミナー 様々な業界・業種、そして全国の優良企業と出会えるチャンス!



10-11月

各種業界研究会



中小企業経営者
との交流会



12-1月

業界研究セミナー



愛知ブランド企業研究会



2月

瑞若会企業研究会

就職力向上講座 自己分析から履歴書作成、筆記試験・面接対策まで順を追って全面バックアップ!



6-12月

自己分析・履歴書対策



12月

筆記試験対策



2月

グループ
ディスカッション対策



企業採用担当者による
集団模擬面接



3月

面接実践演習

その他プログラム



就活マナー講座



メイクアップ特別講座

PICK UP!!

全国最大級 746社のべ2,987人来場 愛名会学内企業展

本学園の後援組織「愛名会」の会員企業を対象とする愛名会学内企業展は、企業の方々と学生が直接お話しできる貴重な機会です。実際に多くの企業に触れることで、就活の幅や選択肢を広げることができます。



愛名会会員
企業数(法人会員)
約990社

愛知工業大学

7/20(土)21(日)

オープンキャンパス

申込不要

- 時間 10:00～15:00
場所 八草キャンパス
自由ヶ丘キャンパス(経営情報システムのみ)
◎お友達、ご家族も誘ってぜひお越しください
- 専攻デモンストレーション
 - 入試説明・推薦入試対策講座
 - 保護者説明会 ●個別相談コーナー
 - 在学生による各専攻相談コーナー
 - 入試相談コーナー ●学食体験(ランチ無料)
 - フリードリンクコーナー
 - ★女子学生をモデルとした学科説明
 - ★女子高生パネルディスカッション
 - ★理工系ガール専用ブース(★:八草キャンパスのみ)



◎ホームページはこちら

名電高等学校

8/24(土)25(日)

体験入学

申込不要

- 時間 9:00～12:00
(受付は11:00まで)
- ◎上履きは不要です
 - ◎保護者の方々もぜひお越しください
 - 各教科の授業体験
 - カナダ語学研修紹介
 - 理科実験体験 ●パソコン体験
 - レーザーカッターでキーホルダー作り
 - LED工作 ●電気自動車乗車体験
 - ミニチュア家具製作
 - 各種部活動体験 など



◎ホームページはこちら

名電中学校

7/7(日)

学校説明会

要申込

- 時間 10:00～12:00
申込方法 電話(TEL052-721-0201)
またはホームページ
※各回定員あり
- ◎上履きは不要です
 - ◎保護者の方々もぜひお越しください
 - 授業体験(国・算・理・社・英会話)
 - 部活動体験(サッカー・メカニカルアーツ部)
 - 学校紹介
 - 校舎見学
 - 個別相談



◎ホームページはこちら

情報電子専門学校

6/8(土)7/6(土)27(土)

体験入学

要申込

- 時間 8:50～13:30
申込方法 ホームページ
- ◎片道交通費の補助制度があります
 - ※詳細は事務部までお問い合わせください
(TEL0565-32-8181)
 - 実際の授業を再現した体験授業
 - 個別相談会 ●教員への質問コーナー
 - ランチ無料
- 資格と実践力を身に着けるための徹底的な指導が特徴の専門学校は、来年度学科再編を行い、2学科4コース制に新しく生まれ変わります。また、愛知工業大学への編入学が有利なことも特徴です。ぜひ、この機会に「ナマのACE」を体感してください。



◎ホームページはこちら

※開催時間、実施内容は変更となる場合があります。

Schedule 2019年6月～10月

	愛知工業大学	名電高等学校	名電中学校	情報電子専門学校
6月		●授業参観	●芸術鑑賞会 ●総合学力マーク模試(6年)	●中間試験 ●学生会行事 ●体験入学
7月	●オープンキャンパス ●前期試験	●期末考査、三者面談 ●総合学力テスト(1・2年) ●終業式 ●カナダ語学研修(~8月)	●期末考査、三者面談 ●海外語学研修 ●終業式 ●学校説明会	●定期試験 ●体験入学
8月	●前期試験 ●夏季休業	●全校出校日 ●到達度テスト(3年) ●体験入学	●夏季補習 ●全校出校日	●夏休み ●体験入学
9月	●夏季休業 ●秋季入学式・卒業式(大学院)	●始業式 ●到達度テスト(1・2年) ●文化祭	●始業式 ●学校祭 ●到達度テスト(4・5年)	●夏休み ●体験入学
10月	●大学祭 ●オープンキャンパス (八草キャンパスのみ)	●体育祭 ●中間考査 ●修学旅行 ●授業参観	●体育祭 ●中間考査 ●写生会 ●野外教育学習 ●修学旅行(5年)	